



## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2019年4月25日

上場会社名 株式会社 田谷  
 コード番号 4679 URL <http://www.taya.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保科 匡邦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 中村 隆昌 TEL 03-5772-8411  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月18日 有価証券報告書提出予定日 2019年6月19日

配当支払開始予定日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	9,727	7.8	14		10		41	
2018年3月期	10,545	7.5	46		57		132	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	8.39		1.7	0.2	0.1
2018年3月期	26.52		5.2	0.9	0.4

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	5,801	2,423	41.8	485.08
2018年3月期	6,138	2,465	40.2	493.47

(参考) 自己資本 2019年3月期 2,423百万円 2018年3月期 2,465百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	191	151	123	882
2018年3月期	239	250	117	965

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		0.00	0.00			
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期(予想)		0.00						

(注) 期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,677	4.4	9		17		46		9.26
通期	9,444	2.9	81	469.6	68	540.7	0		0.12

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	5,100,000 株	2018年3月期	5,100,000 株
期末自己株式数	2019年3月期	102,946 株	2018年3月期	102,946 株
期中平均株式数	2019年3月期	4,997,054 株	2018年3月期	4,997,054 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(持分法損益等) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10
4. その他 .....	11
(1) 役員の異動 .....	11
(2) その他 .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府の各種経済政策により、企業収益が堅調に推移するとともに、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、通商問題の動向や海外経済の不確実性に加え、金融資本市場の変動影響等、先行き不透明な状況が続いております。

美容業界におきましても、依然として消費者の強い節約志向の高まりや、店舗間競争の激化、また労働需給逼迫による美容師確保難など、当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては、「中期経営改善計画(2016年度～2018年度)」の最終年度として、(1)人事施策(2)営業施策(3)店舗施策(4)コーポレート施策の4つの施策を軸に、本計画の基本方針であります、収益体質への早期転換と事業基盤の再構築に全社を挙げて取り組んでまいりました。

店舗につきましては、美容室1店舗の改装を実施し、美容室8店舗をブランド転換いたしました。一方で美容室4店舗(Shampoo ススキノラフィラ店、クレージュ・サロン・ボーテ イオンモール熱田店、クレージュ・サロン・ボーテ 丸井錦糸町店、Shampoo リバーウォーク北九州店)を閉鎖し、当事業年度末の店舗数は、美容室122店舗と小売店1店舗となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は9,727百万円(前期比7.8%減)となり、営業利益14百万円(前期は営業損失46百万円)、経常利益10百万円(前期は経常損失57百万円)、当期純損失は41百万円(前期は当期純損失132百万円)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は5,801百万円となり、前事業年度末比337百万円の減少となりました。

流動資産の残高は1,780百万円(前事業年度末比184百万円減少)、固定資産の残高は4,020百万円(前事業年度末比153百万円減少)となりました。主な要因につきましては、現金及び預金の減少71百万円、売掛金の減少40百万円、建物の減少94百万円、敷金及び保証金の減少61百万円であります。

当事業年度末の負債総額は3,377百万円となり、前事業年度末比295百万円の減少となりました。

流動負債の残高は1,831百万円(前事業年度末比188百万円減少)、固定負債の残高は1,545百万円(前事業年度末比107百万円減少)となりました。主な減少につきましては、長短借入金の純減105百万円、未払金の減少70百万円、未払費用の減少43百万円、資産除去債務の減少32百万円であります。

当事業年度末の純資産は2,423百万円となり、前事業年度末比41百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の40.2%から41.8%に増加いたしました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ83百万円減少し、882百万円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において、営業活動の結果得られた資金は191百万円(前期比20.1%減)となりました。

これは主に、減価償却費254百万円、売上債権の減少40百万円があったものの、法人税等の支払額51百万円、仕入債務の減少26百万円、退職給付引当金の減少16百万円があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において、投資活動の結果使用した資金は151百万円(前期比39.7%減)となりました。

これは主に、店舗閉鎖等による敷金及び保証金の回収による収入112百万円があったものの、店舗改装・ブランド転換にともなう有形固定資産の取得による支出216百万円、資産除去債務の履行による支出29百万円があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において、財務活動の結果使用した資金は123百万円(前期は117百万円の獲得)となりました。

これは主に、長短借入金の純減105百万円があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第43期 2017年3月期	第44期 2018年3月期	第45期 2019年3月期
自己資本比率 (%)	42.5	40.2	41.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	53.9	54.6	53.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	-	7.0	8.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	-	11.5	8.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

2. 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについてはキャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

3. 2017年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、国内経済は緩やかな回復基調が続く一方で、米中間の貿易摩擦の影響やEU離脱問題等海外を中心としたリスクの高まりにより、わが国経済を下振れさせる懸念もあり、個人消費の節約志向の継続や消費税増税等、経営環境は引き続き厳しい状況で推移することが予想されます。

このような状況の下、当社といたしましては、『Always Smile』をスローガンに、美容師の「優れた技術と優れたサービス」の充実をより一層図ることで、多くの方々が“笑顔”になっていただけるように、全社を挙げて取り組んでまいります。

また、人材の確保・育成等による戦力強化や店舗施策につきましても、既存店舗の改装・スクラップ&ビルドにより経営効率を高め、今後の成長戦略に向けての経営基盤構築に努めてまいります。

次期の業績予想につきましては、売上高9,444百万円（前期比2.9%減）、営業利益81百万円（前期比469.6%増）、経常利益68百万円（前期比540.7%増）、当期純利益0百万円（前期は当期純損失41百万円）としております。

(注) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当会計年度において、営業利益および経常利益を計上しましたが、安定的に利益を計上しうる業績基盤の確立は途上にあり、未だ継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

しかしながら、当社は当該事象又は状況の解消を図るべく、営業施策の更なる強化はもとより、人事と教育の両面から美容師をサポートする機能強化や、人員の効率的な配置による生産性向上、商品販売の拡大、さらに店舗施策をより一層推し進めることで、店舗収益の改善に取り組んでまいります。

資金面につきましては、2016年12月に財務体質の強化を図るため、既存借入金のリファイナンス資金の調達を目的としたシンジケートローン契約を取引金融機関と締結しており、当事業年度における資金状況及び今後の資金繰りを検討した結果、当面は事業活動の継続性に懸念はなく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS（国際財務報告基準）導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,167,556	1,096,032
売掛金	500,798	460,360
商品	73,537	60,127
美容材料	21,757	19,211
貯蔵品	11,289	10,914
前払費用	105,893	94,390
その他	83,839	39,420
貸倒引当金	△355	△235
流動資産合計	1,964,316	1,780,222
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,269,368	4,308,416
減価償却累計額	△2,956,093	△3,089,698
建物(純額)	1,313,275	1,218,718
構築物	26,014	26,014
減価償却累計額	△23,868	△24,123
構築物(純額)	2,146	1,891
工具、器具及び備品	83,486	98,667
減価償却累計額	△43,411	△46,952
工具、器具及び備品(純額)	40,075	51,715
土地	1,193,505	1,193,505
リース資産	63,432	56,754
減価償却累計額	△34,618	△32,548
リース資産(純額)	28,813	24,205
有形固定資産合計	2,577,815	2,490,035
無形固定資産		
ソフトウェア	1,893	1,038
その他	30,097	30,097
無形固定資産合計	31,990	31,136
投資その他の資産		
出資金	219	209
従業員に対する長期貸付金	420	210
長期前払費用	15,210	11,970
敷金及び保証金	1,539,862	1,478,210
その他	9,164	9,165
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,564,875	1,499,764
固定資産合計	4,174,682	4,020,936
資産合計	6,138,999	5,801,158

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	165,837	147,458
電子記録債務	148,503	135,994
買掛金	52,908	55,431
短期借入金	441,200	369,420
1年内返済予定の長期借入金	172,898	212,698
リース債務	12,333	11,845
未払金	176,842	106,613
未払費用	502,457	458,746
未払法人税等	94,116	88,365
未払消費税等	77,822	103,674
前受金	676	702
預り金	79,853	74,445
賞与引当金	67,152	63,584
資産除去債務	27,706	2,898
流動負債合計	2,020,310	1,831,878
固定負債		
長期借入金	1,021,988	948,161
リース債務	20,492	14,389
繰延税金負債	10,973	9,015
退職給付引当金	394,354	377,386
資産除去債務	203,011	195,221
その他	1,946	1,127
固定負債合計	1,652,768	1,545,302
負債合計	3,673,078	3,377,181
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金		
資本準備金	1,702,245	1,702,245
資本剰余金合計	1,702,245	1,702,245
利益剰余金		
利益準備金	66,920	66,920
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△623,926	△665,871
利益剰余金合計	△557,006	△598,951
自己株式	△159,497	△159,497
株主資本合計	2,465,920	2,423,976
純資産合計	2,465,920	2,423,976
負債純資産合計	6,138,999	5,801,158

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高		
美容施術売上高	9,393,215	8,679,894
商品売上高	1,118,298	1,014,301
その他の売上高	34,263	33,693
売上高合計	10,545,777	9,727,888
売上原価		
美容施術売上原価	8,690,078	7,955,066
商品売上原価	519,200	471,975
その他の売上原価	16,855	18,444
売上原価合計	9,226,134	8,445,485
売上総利益	1,319,642	1,282,403
販売費及び一般管理費	1,366,325	1,268,049
営業利益又は営業損失(△)	△46,682	14,353
営業外収益		
受取利息	123	106
保険配当金	2,745	2,823
協賛金収入	5,431	6,076
受取事務手数料	2,777	2,870
受取保険金	905	5,539
助成金収入	342	4,177
その他	7,869	7,722
営業外収益合計	20,195	29,316
営業外費用		
支払利息	21,083	22,407
シンジケートローン手数料	4,160	4,190
その他	5,727	6,326
営業外費用合計	30,971	32,924
経常利益又は経常損失(△)	△57,458	10,745
特別損失		
固定資産除却損	27,040	2,873
店舗閉鎖損失	—	4,511
特別損失合計	27,040	7,384
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△84,498	3,360
法人税、住民税及び事業税	52,479	47,263
法人税等調整額	△4,479	△1,957
法人税等合計	47,999	45,305
当期純損失(△)	△132,498	△41,944



(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2017年4月1日 至2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金
当期首残高	1,480,180	1,702,245	1,702,245	66,920	△491,428	△424,508
当期変動額						
当期純損失(△)					△132,498	△132,498
当期変動額合計	—	—	—	—	△132,498	△132,498
当期末残高	1,480,180	1,702,245	1,702,245	66,920	△623,926	△557,006

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△159,497	2,598,419	2,598,419
当期変動額			
当期純損失(△)		△132,498	△132,498
当期変動額合計	—	△132,498	△132,498
当期末残高	△159,497	2,465,920	2,465,920

当事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金
当期首残高	1,480,180	1,702,245	1,702,245	66,920	△623,926	△557,006
当期変動額						
当期純損失(△)					△41,944	△41,944
当期変動額合計	—	—	—	—	△41,944	△41,944
当期末残高	1,480,180	1,702,245	1,702,245	66,920	△665,871	△598,951

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△159,497	2,465,920	2,465,920
当期変動額			
当期純損失(△)		△41,944	△41,944
当期変動額合計	—	△41,944	△41,944
当期末残高	△159,497	2,423,976	2,423,976

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△84,498	3,360
減価償却費	262,320	254,329
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,721	△3,568
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,250	△16,967
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△120
受取利息及び受取配当金	△123	△106
支払利息	21,083	22,407
シンジケートローン手数料	4,160	4,190
固定資産除却損	27,040	2,873
売上債権の増減額(△は増加)	6,025	40,464
たな卸資産の増減額(△は増加)	21,003	16,330
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,099	△26,602
未払金の増減額(△は減少)	24,730	△15,091
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,323	25,852
その他	88,527	△42,686
小計	317,959	264,665
利息及び配当金の受取額	134	106
利息の支払額	△20,834	△22,370
法人税等の支払額	△57,836	△51,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	239,423	191,331
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△359,166	△330,421
定期預金の払戻による収入	380,839	318,402
有形固定資産の取得による支出	△368,764	△216,012
敷金及び保証金の差入による支出	△33,508	△1,852
敷金及び保証金の回収による収入	216,616	112,758
資産除去債務の履行による支出	△83,257	△29,737
その他	△3,620	△4,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△250,860	△151,336
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	466,600	305,000
短期借入金の返済による支出	△422,700	△376,780
長期借入れによる収入	246,000	162,000
長期借入金の返済による支出	△153,713	△196,026
リース債務の返済による支出	△14,078	△13,622
シンジケートローン手数料の支払額	△3,899	△4,156
配当金の支払額	△388	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	117,820	△123,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62	47
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	106,320	△83,542
現金及び現金同等物の期首残高	859,333	965,654
現金及び現金同等物の期末残高	965,654	882,111

(5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(持分法損益等)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)及び当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)  
当社は、美容事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	美容施術	商品	その他	合計
外部顧客への売上高	9,393,215	1,118,298	34,263	10,545,777

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	美容施術	商品	その他	合計
外部顧客への売上高	8,679,894	1,014,301	33,693	9,727,888

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自2017年4月1日 至2018年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自2017年4月1日 至2018年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	493.47	485.08
1株当たり当期純損失金額(円)	26.52	8.39
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純損失(千円)	132,498	41,944
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失金額(千円)	132,498	41,944
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,997	4,997

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

該当事項はありません。

(2) その他

区分別売上高比較

区分	前事業年度 自 2017年4月1日 至 2018年3月31日		当事業年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日		前期比較
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減(△) (千円)
美容施術	9,393,215	89.1	8,679,894	89.2	△713,321
商品	1,118,298	10.6	1,014,301	10.4	△103,997
その他	34,263	0.3	33,693	0.4	△569
合計	10,545,777	100.0	9,727,888	100.0	△817,888